

# 人財育成特別委員会計画

委員長 藤井 浩幸  
副委員長 伊東 雅普  
副委員長 重原 稔  
幹事 仲山 一也

## 【基本方針】

「国家百年の計は人材の育成にあり」という言葉があるように、「人づくり」こそが「国づくり」の源泉であり、特に資源に乏しい我が国においては経済や教育をはじめ多くの分野でその重要性や必要性が問われています。しかし、現実には倫理観や道徳観の欠如といった人的要因による様々な事件や不祥事が頻発し社会に暗い影を落としています。今こそ、明るい豊かな社会の実現を標榜する我々 J A Y C E E が確固たる当事者意識を持ち、地域社会から必要とされる人を「人財」と捉えた育成を強く推進しなければなりません。

その為には、人財育成を基点に幅広い分野の中から我々世代にとって取り分け身近な課題であると考えられる「経済」と「教育」の2つを切り口として取り組みます。経済については、公益性を意識した公開例会の場を利用して、企業人として求められる哲学や精神論といった基礎的な内容からビジネスにおける挨拶や礼儀作法といった実社会での活用を念頭においた内容を連続した一つの流れとして発信し、上越 J C の会員企業の社員はもとより上越地域の多くの企業人へ学びの場を提供します。また、この公開例会の内容を活かしたビジネスセミナーを開催し更に学びを深め、より踏み込んだ人財育成を展開することで地域経済の発展に貢献します。教育については様々な教育観がある中で「子どもは大人の背中を見て育つ」という言葉をキーワードに子どもにとって特に影響があると考えられる「親」に焦点を絞り、親を人財と捉えた中で親としての在り方や親として学ぶべきことなど有識者や関係団体との意見交換も交えた勉強会を開催します。また、ここで得られた経験値を基とし、既に親である人のみならずこれから親になるであろう人たちも対象に「親の学びの場」を提供し、親としての成長を促すことで地域の教育力の向上に貢献します。

人の成長はいかに自分自身と真摯に向き合えるかが重要です。企業人としての自分や親としての自分自身がどの様にあるべきかを様々な視点から考え行動に移していくことで、各々が地域社会から必要とされる人財へと成長し、地域発展の原動力として各分野で活躍することこそが、明るい豊かな社会の実現へと繋がります。

## 委員会職務分掌＜事業内容＞

1. 2・3・4・5月担当例会の開催
2. 人財育成の観点から地域経済の発展に貢献する事業
3. 人財育成の観点から地域の教育力向上に貢献する事業
4. 姉妹 JC 「沙鹿国際青年商會（台湾）」との交流